

業界の

声



● 山梨総合管財事業協同組合

理事長 二神 茂氏

現在の日本経済について？

マスメディア等の「景気悪化」報道のためか「攻め」ではなく「守り」を重視する経営者が増えているように感じられます。もちろん景気が悪いのは事実でしょうが「守り」の経営に終止してしまつと経営戦略の選択肢が狭くなる気がします。

あくまで個人的な考えですが、私自身はこの状況を「チャンス」と捉えています。それは、現状を「チャンス」と捉えると様々な経営戦略を考えるようになるからです。その経営戦略こそ、この現状を打開する一手ではないかと考えています。「苦境こそチャンス」と捉えることが、今の企業には大事なのではないでしょうか。

業界及び企業経営について？

私は企業経営において、「利益追求」だけではなく、「つながり・信頼」を重視することが必要と考えています。

現在、県内ビルメンテナンス業界は、県外企業の参入により「価格競争」が起こっています。そのため極端な低価格による受注を行っている企業が増えており、仕事があるのに儲けがでない状況となっています。そのような状況を打開するためには、「価格」以外の部分で勝負する事が必要です。それが「つながり・信頼」です。

企業は営利団体なので利益追求が最大の目的ですが、地域貢献などを行うことにより地元との「つながり」が生まれてきます。「つながり」は、やがて「信頼」に変わり、それが仕事の受注につながるのではないのでしょうか。

また、「付加価値の創造」も重要と考えています。10万円受けた仕事に対し、12万円分の価値を感じて頂ければ、それは「付加価値」です。1つの仕事にどれだけの「付加価値」を与えられるか、それが「信頼」となり「つながり」となっていくと思います。

「つながり・信頼」を築くためには長い時間を要するため、すぐに結果がでるものではありません。ただ、一度築いた「つながり・信頼」は何よりも強固であり、企業にとって強い武器となると考えています。



組合事務所